

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|---|---------|--|
| 1 | 施設名 | 仙台市広瀬図書館 |
| 2 | 指定管理者 | 丸善雄松堂 株式会社 |
| 3 | 指定期間 | 平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日 |
| 4 | 施設の利用状況 | <p>《利用者数》 平成29年度：111,176人団体〔個人：110,608人、団体・文庫：568団体〕（前年度比102.1%） 平成28年度：108,844人団体〔個人：108,253人、団体・文庫：591団体〕 平成27年度：107,803人団体〔個人：107,317人、団体・文庫：486団体〕</p> <p>《事業》定例おはなし会、あかちゃんおはなし会（おはなしふたば）、特別おはなし会、親子で楽しむわらべうた、赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうたの会、タブレット体験教室、英語多読教室、はじめよう！ベビーサイン、夏休み読書スタンプラリー、音楽で奏でる本の世界、映画会、みんなで夏休み工作会、職場体験、子ども天文教室、手製本講座、ひろせしゃべぐるBOOKS、地域文集事業（思い出アーカイブ）、本の福袋、選書アドバイザー、地元企業との連携による講演会等</p> |
| 5 | 収支の状況 | <p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 53,700千円 （53,700千円） ・ その他市が負担した費用 8,912千円 （8,664千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 （0千円） ・ その他収入 14千円 （14千円） |
| 6 | 利用者の声 | <p>《実施状況》</p> <p>利用者アンケート 実施期間：平成29年12月10日（日）～12月23日（土祝） 回答者数：209人 利用者懇談会 開催日：平成30年2月15日（木） 参加者数：6人</p> |

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|--|----|
| I 総則 | 図書館の設置目的を踏まえて策定された、施設運営上の基本方針に基づき管理運営されている。全館共通の業務や行事も適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。 | S |
| II 施設の運営管理体制 | 職員の勤務実績や配置状況、また、施設の開館状況は仕様書のとおり適切である。指定管理料も適正に執行されている。個人情報の取り扱いや情報システムのセキュリティ対策についても徹底している。危機管理について研修を実施し、災害発生時の訓練も関係機関と合同で適切に実施されている。事故や苦情等の処理報告書を榴岡図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図っている。 | S |
| III 施設・設備の維持管理 | 建物、設備及び備品は適切に管理されている。環境へ配慮した取り組みもなされている。 | S |
| IV サービスの質の向上 | 利用者特性に配慮した分かりやすい掲示物・広報物等の作成や丁寧な接遇によりサービスの向上に努めている。スタッフミーティングの実施や、業務上の注意事項をまとめた資料を作成するなど、サービス水準の確保に取り組んでいる。必要な研修の機会も設けられており、スタッフミーティングで研修参加者による報告が行われている。催事案内を近隣の商業施設や児童館、保育所等に持参し、潜在的な利用者への働きかけも行っている。 | S |
| V 施設固有の基準 | カウンター業務は適切に行われている。書架整理や選書支援については、利用状況や蔵書構成を把握しながら蔵書管理に取り組んでいる。自主事業は、定着した行事以外にも新しい事業を企画・実施するなど、年度毎に充実してきている。天文台や高専、地元企業等の外部機関とも連携し、事業内容の充実を図っている。参加者へのアンケート結果をもとに事業内容について検証を行い、次年度の事業計画に活かそうとしている。 | S |

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

| 評価すべき取組み | | 取組み状況 |
|----------|-----------------|---|
| 1 | 音楽で奏でる本の世界 | コンサートとその関連行事として、児童向けの朗読ワークショップを開催し、音楽と朗読のコラボレーション事業を行った。プロの演奏家による音楽会を開催することにより、潜在的利用者の来館機会を創出し、また、図書館の所蔵する本と関連付けた内容とすることで、音楽を通じて新たな本と出会える場として、図書館の利用促進に繋げることを目的とした企画で、広瀬市民センター及び広瀬文化センターとの共催事業として実施し、地域連携の推進も図った。 |
| 2 | ひろせ しゃべぐる BOOKS | 読書会を通じて利用者が読書体験を相互に共有できる場を図書館が提供することを目的として年3回実施した。子ども向けの事業に比べると開催の少ない大人向け事業として、参加者同士の交流による直接的な読書活動の推進に加え、読書会で取り上げられた本を「読書会の本棚」と題して「広瀬図書館まつり」における特別展示として紹介し、他の来館者への波及効果による読書活動推進にも貢献した。 |
| 3 | 仙台高専との連携事業 | 仙台高専広瀬キャンパスの教職員を講師として招き、8月に「みんなでサイエンス！」と題して科学工作会を、8月と翌年2月に「英語多読教室～実践！英語脳の育て方～」と題して英語多読の方法を学ぶ講座を開催した。モーターの製作や英語多読テキストを使用したワークを通じ、関連図書を読む機会や意欲を創出することにより図書館の利用促進や読書推進につなげた。また、「高専祭」では「古本市」に協力するとともに、資料展示等を通じて図書館のPRや広報を行った。 |
| 加点評価 | | A |

四 評価総括

| 《指定管理者（丸善雄松堂 株式会社）による自己評価》 | |
|--|--|
| <p>平成29年度の広瀬図書館の運営は、年度当初に策定した基本方針と図書館振興計画の施策に基づき、事業計画を着実に実施してきた。</p> <p>1. 基本業務は、継続して重視してきた利用者目線のきめ細かい窓口対応の成果が、利用者アンケートにおける職員対応への高い満足度として現れている。また、平成30年1月の図書館システムの切替については、館内での操作確認等を積極的にを行うことを通じて、大きなトラブル等を発生させることなく完遂することができた。その他、仙台市図書館として新しくサービス提供を開始した国立国会図書館デジタル化資料送信サービスへの対応についても、事前の操作研修を徹底したことで、適切なサービス提供を行うことができた。</p> <p>2. 自主事業は、地域施設等との連携事業において新しい取組みを実施したほか、継続事業についても内容の充実を図った。「本に出てくる音楽」をテーマとするコンサート及び朗読ワークショップを併設施設3館で共催した「音楽で奏でる本の世界」や、天文台のミニプラネタリウムを会場とする「ミニプラネタリウムdeおはなし会」を新しい取組みとして実施したほか、国立仙台高等専門学校との連携による英語多読教室、科学工作会、高専祭に参加しての古本市及び天文台との連携による子ども天文教室、ボランティア団体との協働による「宮城地区まつり」参加などに継続事業として取り組んだ。また、図書館の利用登録拡大にも繋がっている「夏休み読書スタンプラリー」、複数年に渡って参加を希望する中高生も増えつつある「選書アドバイザー会議」、恒例事業として定着した「ひろせしゃべぐるBOOKS」や、地域のモバイルショップとの連携による「タブレット体験教室」などにおいて、前年度に抽出された課題を踏まえた取組みを実施した。「広瀬図書館まつり」の関連行事についても、「手製本講座」を修理ボランティア募集の機会として位置付けたほか、「本の福袋」の貸出袋数を増やすなど内容の充実を図った。自主事業の実施にあたっては、参加者に対するアンケートも継続して実施しており、多様化する利用者のニーズを捉えた事業を広範に実施することを通じて、図書館振興計画の方向性・施策を踏まえ、効果的な取組みを実施することができた。</p> <p>3. 1日あたりの利用実績は、延べ利用者数5.4人減、貸出冊数11.2冊減、返却冊数12.4冊減と、いずれも減少した。主たる要因は、平成29年度の蔵書点検が土日を含む通常形であったことも一因となったと考えられる。年間の開館日数は増加したものの、土日の開館日数は、平成28年度より1日減少した。</p> <p>4. 職員に対する教育研修は、ロジカルライティングやチームワークをテーマとするリーダー研修や、インバウンド対応も念頭に置いた図書館員向け英会話講習などの指定管理者独自のプログラムに加え、仙台市図書館主催の研修、文部科学省主催の新任図書館長研修や宮城県図書館主催研修など外部研修に職員が参加した。研修内容のフィードバックを目的として、研修報告書の作成及びスタッフ定例会における研修報告も継続して実施しており、職員の技能や図書館サービスの質の向上を目的とした取組みは効果的に実施することができた。また、地震等の災害に備える取組みについても、消防訓練を年3回、丸善雄松堂安否確認システムの運用訓練(全スタッフ参加)を年4回実施するなど、効果的に実施することができた。</p> <p>5. 運営の評価は、自己評価や市民図書館による定例監査の他、第三者評価として、利用者アンケートを実施した。また、全市的な取組みの一環として、利用者懇談会も継続して開催した。</p> <p>6. 施設管理は、「仙台市公共施設点検要綱」に基づく定期点検を適切に実施したほか、広瀬文化センターとの緊密な連絡により効率的に実施することができた。</p> | |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|--|------|
| <p>指定管理運営10年目となる平成29年度は、定着した定番事業である「思い出アーカイブ（地域文集事業）」「ひろせしゃべぐるBOOKS」や「えいごdeおはなし会」「はじめよう！ベビーサイン」等の特色ある事業に引き続き積極的に取り組んだ。また、新しい試みとして「音楽で奏でる本の世界」コンサート及び朗読ワークショップを開催して新たな利用者の獲得にも努め、幅広い利用者層に向け自主事業のより一層の充実を図った。広瀬文化センター・広瀬市民センター等の関係機関や地域との連携事業、地元企業と連携した講演会等の連携事業も定着し、多くの参加を得ている。</p> <p>館内の備品管理についても、仙台市貸与備品と指定管理者購入備品とに区別した台帳を整備し適切に行っている。また、館内視聴ブースの椅子に利用者が自由に使うことのできる、ひざ掛けと座布団を設置して居心地の良さを改善するなどサービスの向上に努めた。</p> <p>平成29年度の利用状況は、前年度とほぼ水準で推移した。</p> <p>今後もより一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大に期待する。</p> | S |